広島県立

広島叡智学園

中学校・高等学校

HIROSHIMA GLOBAL ACADEMY

Junior & Senior High School

学校案内

［令和2年度版］

HiGA

校長からのメッセージ

福嶋　一彦
Kazuhiko Fukushima
広島叡智学園中学校・高等学校 /
HiROSHIMA GLOBAL ACADEMY（HiGA）校長

現在、私たちは、グローバル化の進展などにより
急速に変化する社会の中で生活しており、
既存の知識や技術を用いて解決することが困難な
様々な課題に直面しています。
このような社会をたくましく生き抜き、よりよい社会を
創造していくには、生涯にわたって主体的に学び続け、
多様な人々と協働して、新たな価値を創造できる
資質・能力が求められます。

このような時代の要請の中、平成31年4月、広島叡智学園は、
「社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても
地域や世界の『よりよい未来』を創造できるリーダーを育成する」
というビジョンを掲げ、ここ大崎上島に
広島県立の中高一貫教育校として誕生しました。

昨年、広島県内外から集った第１期生たちは、寮生活を
送りながら、外国人講師と日本人教師が協働して行う指導の下、
実社会の課題解決に挑戦する国際協働型プロジェクト学習など、
特色ある学習活動に積極的に取り組んできました。
そして、開校2年目を迎えた今年も、生徒の個性を最大限に
生かす学習環境を提供し、ワクワクする気持ちを大切にしながら、
6年間を通して学ぶ「ここ」でしかできない学びを展開していきます。

近い将来、生徒たちが恵まれた自然と学習環境の中で
「未来に向かう学び」を実現し、「世界へと続く扉」を
自らの手で開いて、ここ大崎上島から世界へ、
グローバルリーダーとして巣立っていくことを心から願っています。

福嶋　一彦

キャロル・犬飼・ディクソン
Carol Inugai Dixon
日本国際バカロレア教育学会会長 / 筑波大学客員教授 /
広島叡智学園中学校・高等学校シニア・ディレクター

キャロルさんからのメッセージ

広島叡智学園の一員となれたことを大変嬉しく思います。
生徒の学びを学術的に支援することはもちろんのこと、
すべての生徒の幸せのために、社会的、倫理的な側面においても、
生徒が成長していけるよう、全力を尽くします。

I am very honored to be able to join Hiroshima Global Academy as senior director and am looking forward to contributing to the development of a school culture and community that nurtures the well-being of all students, not only in the academic sphere but also in the social, emotional and ethical spheres.

保護者からのメッセージ

野島 忠輔
Tadasuke Nojima
PTA会長

私共が、娘を広島叡智学園に進学させることにしたのは、
従来の詰め込み型の受験対策のための教育ではなく、
好奇心を持って学ぶ力を育むことが出来ると感じたからです。
また、第１期生でもあるため、1年生から全てのことを
自ら考え実行していくことができることです。
さらに、寮で共同生活をすることで生涯の仲間を作り、
広い視野をもって多様性を認められる人になれると
感じたためです。
小学校を卒業したばかりの娘を目の届かない所に
行かせるということは私共にとっても重く難しい決断でした。
しかし、現在のグローバリゼーションの進展に伴う
厳しい国際競争の中で、自らの思いを主張できる
リーダーとして成長して欲しいと思い、広島叡智学園に
進学させることを決断しました。

応援団からのメッセージ

キャロライン・ケネディ
Caroline Kennedy
前・駐日米国大使 / Director, The Boeing
Company / 米日財団理事

広島には、世界に対して発信すべき物語がたくさんあります。
私は、広島叡智学園が、その取組を先導していく役割を
担うことを確信しています。
また、グローバル化した社会の諸課題を解決するために、
世界中の若者を繋ぎ、国境を越えた友情の絆を
築いていくという学校のミッションを支持します。
私は、広島叡智学園が、平和な社会づくりを目指す
教育機関の中心となる日を楽しみにしています。

Hiroshima has a great deal to teach the world, and the Hiroshima Global Academy promises to be a leader in that effort. I support its mission to connect young people from around the world, so that they can form the bonds of friendship and understanding that will help them solve the problems of a globalized society.
I look forward to seeing this institution develop into a center of academic excellence committed to the cause of peace.

MISSION
ミッション

学びを通じて平和な社会づくりを実現し続ける存在となることを目指す

TO BE A GLOBAL LEADER IN BUILDING PEACE WITH THE POWER OF “LEARNING”.

VISION
ヴィジョン

社会の持続的な平和と発展に向け世界中のどこにおいても
地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成する

TO FOSTER LEADERS WHO CREATE IN THEIR COMMUNITY "A BETTER FUTURE"
FOR PEACE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT.

「学びの変革」の目指すべきモデルとなる

TO BE AN EXCELLENT MODEL IN "LEARNING INNOVATION".

VALUES
バリュー

「グローバルな視野」と「地域に根ざした心」の双方を大切にし、
主体的に学び続ける「ラーニングコミュニティ」を形成する

TO BE A LEARNING COMMUNITY WHOSE GLOBAL VISION IS ROOTED IN LOCAL CONTEXT.

重点的に育成する力

- 様々な場面で活用できる **知識・技能の深い理解**
- 新しい価値を生み出す **創造的・批判的思考力**
- 異なる文化・価値観を持つ人々と **協働する力**
- 目標に向かって **やり抜く力・自信**
- 日本語でも英語でも議論・協働できる **高い語学力**

これらの特色を全て備えた公立学校は全国初！

5つの特色

広島叡智学園は「世界中のどこにおいても、
地域や世界の“よりよい未来”を創造できるリーダー」を育成する、
全寮制の県立中高一貫教育校です。
広島叡智学園には「未来に向かう学び」と「世界へと続く扉」があります。

1. **少人数授業やオンライン交流などによる英語力の育成**
2. **外国人留学生の受入など、多様性あふれる学習環境**
3. **学年を超えた仲間や留学生との共同生活を行う全寮制での学習・生活**
4. **実社会の課題解決に挑戦する国際協働型プロジェクト学習**
5. **国際バカロレア・プログラム導入を検討※**

※国際バカロレア・プログラム導入についての詳細は P17 を参照

生徒の意見と
自己決定を尊重し

生徒の個性を最大限に

1 一人ひとりの生徒が主役

ここでは、「教師が教育を提供する側、生徒は教育を受ける側」ではありません。「教師も生徒も、一緒に教育を創る側」。生徒一人ひとりの「こんな学校にしたい」「こんな授業にしたい」という思いが、この新しい学校を創ります。

一人ひとりの「知りたい」という思いから自発的に研究

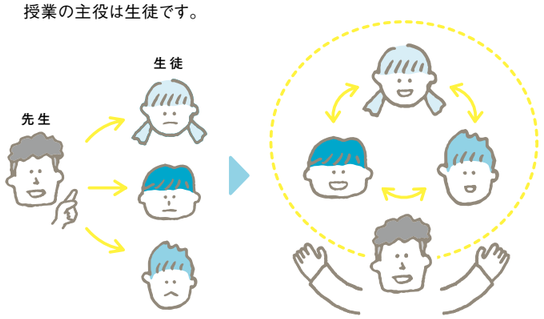
一人１台の ICT 端末を用いて、いつでもどこでも学びを深めます。

2 失敗こそ最高の学び

「正解」か「不正解」かしかない「テスト」ではなく、「成功」も「失敗」もある「プロジェクト」へ。「不正解」は人が決めます。しかし、「失敗」は自分自身が決めるもの。大切な「成長のきっかけ」である「失敗」を、子供たちから取り上げる「過保護な教育」は、この学校では行いません。

先生はファシリテーター！（学びの促進者）

授業の主役は生徒です。



コミュニケーションの方向

3 3つの観点からの学び

全ての学習活動において、次の3つの観点を大切にした学びを行います。

1. COMPETENCY BASED

社会で活躍できる力を育成する学び

2. INQUIRY BASED

生徒の「？」から始まる学び

3. PROJECT BASED

実社会とのつながりを大切にした学び

生かす学習環境

ここで学び、身に付けたスキルは
世界中の様々な場所で生かすことができます。
このスキルは生徒たちの活躍のチャンスを増やしてくれます。

4 社会全体が私たちの学び舎

私たちの学びの場は、学校内だけではありません。「社会全体が私たちの学び舎」を合い言葉に、積極的に学校の外に飛び出し、様々な場所で学びを深めます。

瀬戸内海は最高の教材

山･海に囲まれた最高の自然環境や、そこで暮らす地域の人から様々なことを学びます。

漁業インターンシップ

農業インターンシップ

海外の生徒とオンラインでプロジェクトを進めます

広島で学ぶ、広島を学ぶ

世界中から多くの観光客が訪れる広島。戦後復興等の歴史や世界遺産など、広島ならではの学習活動を行います。

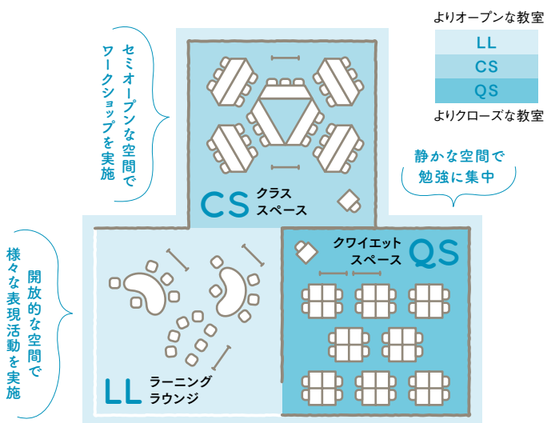
インタビュー活動

5 多様な学習を可能にする学習環境

普通、「教室」は、四方が囲まれた閉鎖的なもの。でも、この学校の教室は、家でいう「リビング」です。オープンな環境の中で、リラックスして学ぶことができます。一人1台の ICT 端末、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙など、生徒たちの Collaboration、Innovation、Creation を支える環境が整っています。

様々な授業スタイルに対応できる3タイプの教室

教室の俯瞰図



生徒のワクワクの
気持ちを大切に

6年間を通して学ぶ“ここ”でしかできない学習活動

HiGAならではの学習

未来創造科

戦争、貧困、環境、エネルギー、食糧、少子高齢化、地域の衰退…。
世の中には、たくさんの課題があります。社会で起きている様々な出来事について、
「自分たちで課題を設定し、国籍や文化の違いを越えた仲間たちと力を合わせて、課題の解決にチャレンジする」。
そして、「テレビや新聞に載っている課題」から、「自分たちの課題」に変える。
これが、本校の教育活動の核となる「未来創造科」（Global-Project Based Learning）です。

未来創造科の4つの視点

- SENSITIVITY 感性
- ETHICS 倫理
- LANGUAGE/EXPRESSION 言語・表現
- SCIENTIFIC THINKING 科学的思考

未来創造科の3つのテーマ

- WELL-BEING 幸せ
- ENVIRON-MENT 環境
- GLOBAL JUSTICE 社会正義

専門家によるワークショップ

様々な分野の第一線で活躍する専門家の方々をお招きします。「課題の見つけ方」「情報収集・整理分析の仕方」「議論の仕方」「アイデアの出し方」「表現・プレゼンテーションの仕方」など、プロジェクトを実行するために必要な多くの理論やモデルを学びます。

大人たち（ステークホルダー）との協働

生徒たちだけでできる活動は限られています。解決策の実行に向けて、関係する大人たちに自分たちのプロジェクトを説明し、連携や支援について、交渉・調整します。

議論・フィールドワーク

解決策の創造に向けて、国籍や文化の違いを越えた仲間たちとの議論、現地のフィールドワーク、関係者へのインタビューなどを行います。特に中１では、大崎上島を中心としたフィールドワークを行い、自分の言葉で大崎上島や広島を語れるようになることを目指します。

解決策の実行

「調べてまとめて発表」では終わりません。大切なのは、粗削りでも良いから、実際にプロジェクトを実行すること。きれいにまとめる必要なんてない。たくさん失敗しましょう。「失敗し、振り返り、次のプロジェクトに生かす」。そのプロセスの中にこそ、最高の「学び」があります。

生徒の声

HiGAの目の前の大串海岸では水泳の授業が行われたり、理科の授業で海や山へ行ったり、また導入されたばかりの島親制度や未来創造科の「幸せインタビュー・インターンシップ」などは大崎上島の自然と島民の方々の支えなしでは成り立たないプログラムです。HiGAでは大崎上島の豊かな自然を生かした授業がたくさん展開されています！

HiGAは，生徒がメインとなる授業を行います。授業の中では度々グループワークやディベートなど活発でアクティブな授業をします！またHiGA独自の未来創造科という科目があり，島民へのインタビューなどを通し，よりよい“未来づくり”をしていきます。

HiGAで育てる

生きた英語力の育成

授業と放課後活動の2つの柱があります。小さな国際社会での生活が始まります。
授業以外の放課後活動や寮でも、英語が飛び交います。

少人数で各自のレベルに合った展開
HiGAならではの英語の授業

×

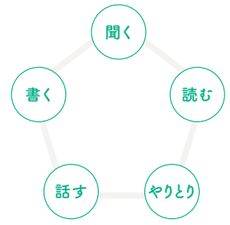
英語をツールをした放課後活動
Activity for Life in English

“リスニング”から“探究”へ

最初は、リスニングを中心としたインプットと、英語でコミュニケーションをとることのできる雰囲気を作ります。英語力の向上を目標としながら、少しずつ探究的な活動へとつなげていきます。

5つの技能をバランスよく

聞くこと・書くこと・読むこと・話すこと・やりとりをすることの5技能をバランス良く育てていきます。日常会話表現だけでなく、英語で議論したり、論文を書いたりすることができるアカデミックな英語力を育成します。



レベルに応じた英語検定をステップアップの指標に

毎年1度、生徒はレベルに応じた英語検定を受検します。合格することだけが目的ではなく、生徒自身の英語力を客観的に測定することで、1年間の生徒の英語力の伸びを確認することができ、その後の学習計画に役立てることができます。なお、この指標により、昨年度入学した生徒全員が、一般的な中3レベルの英語力を身につけていることがわかっています。

Activity for Life Science

英語を使いながらのフィールドワークや実験（大串地区の生き物・植物探し、分類・発芽種子の移植など）を行います。生徒の「知りたい！なぜ？」を大切にしています。

Activity for Life P.E.

世界中のスポーツ（オーストラリアンフットボール、カバディなど）を通して、体づくりを行うとともに、作戦会議を英語で行うなどして、コミュニケーション能力を高めます。

オンライン英会話

海外にいる講師とマンツーマンで英会話をし、日常会話からアカデミックなトピックについてコミュニケーションを取ります。

多読

生徒一人ひとりに合った本を読みます。読んだ後には、オンライン上にあるクイズに答えたり、音読したものを録音して確認をしたりしていきます。

Basic Literacy

アカデミックな英語力を段階的に身につけていくプログラムを、キャロル先生のもと実施しています。

HiGAでは海外の方との交流もたくさんできて，英語力がどんどん向上していくのが実感できています!! 学びを通して自分の視野を広げたいからこそ，この学校を選びました。M

生徒の声

HiGAの授業では，体育や理科，数学にも英語がとり入れられています。これによって，英語を身近に感じるようになりました。英語以外の授業でも英語を学べるということも，HiGAの授業の魅力だと思います。

学校生活を通し、仲間と
ともに学び、ともに成長する

かけがえのない仲間と過ごす日々の生活

6年間の共同生活を仲間と過ごすことで「自律心」「多様性と協働」「思いやり」など多くのものが育まれます。

ある平日の学校生活

自分で一日のスケジュールを考え、自己管理能力を培います。

おはよう!

健康観察は、各ユニットのリーダー生徒が中心に行います。

起床

6:30

朝食

おいしいご飯で1日頑張ろう

旬の食材を生かした献立で、栄養バランスの取れた食事を提供します。

7:00 朝食

8:35 朝のSHR

8:45 午前 授業開始

MYPコーディネーターからのことば

古市 吉洋先生
Yoshihiro Furuichi

様々な場面に応用できる学び

生徒の学びと日常生活とを関連付けることで、学ぶことの意義を実感させるようにしています。その他、多面的・多角的なものの見方や考え方を身に付けるために、複数の資料をグループで比較・検討する活動を取り入れた授業を実施しています。

12:35 昼食

13:20 午後 授業開始

地域と連携した放課後活動

全寮制のこの学校では、放課後も大切な学びの場。今日はActivity for Life Scienceです。この他、地域の方々と一緒に体験的な活動を行っています。

Activity for Life

15:35 帰りのSHR

16:00 放課後

学習

ハウスマスターがサポート

カフェトリウムを22時頃まで開放します。生徒たちは、一人一人のニーズに合わせて、学習やリサーチ活動、グループワーク等をしたりすることができます。

18:00 夕食・学習

就寝

おやすみなさい

ユニットメンバーが開放的なリビングに集い、自治活動や1日の振り返りを行います。

21:00 入浴・自主活動

22:30 点呼・健康観察

夕食

ここからは寮生活

今日の晩御飯はあじの竜田揚げ。みんなと一緒だから美味しいね！

入浴

仲間との絆を深める場

ゆとりある大浴場と個室のシャワー室を完備しています。自然と会話が生まれるランドリーラウンジで洗濯と乾燥ができます。

ハウスマスターからのことば

日高 俊英
Toshihide Hidaka

厚みのある人間になろう

生徒の皆さんには、変化の激しい現代社会の中で、自分が置かれている環境や、自分が求められているポジション、担うべき役割などを的確に捉え、行動することができるような人になって欲しいです。学校・寮での6年間に及ぶ生活の中で、いろいろな経験を積み重ねて、厚みのある人間になれるよう、一緒に頑張りましょう!

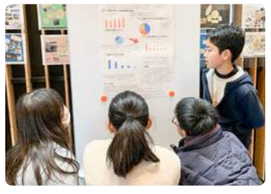
栄養教諭からのことば

田川 真衣
Mai Tagawa

"HiGAごはん"で心と体の成長を

本校では、週末も含めて、1日3食を校内で調理・提供しています。提供する食事は、栄養教諭が献立を作成し、専属調理師が学校の食堂の中で調理をしています。親元を離れて生活する生徒にとって、食事は最も楽しみなことの一つだと考えています。生徒からの感想や食事中の様子を見ながら、献立の振り返りと改善を繰り返し、おいしくて栄養満点の食事を追求しています。未来を担う生徒一人一人の健やかな成長を「食」を通してしっかりと支えていきます。

授業



仲間とともに学び合う

生徒の協働的な学びを基盤とする生徒主体の授業が展開されます。学びのフィールドは校内だけでなく、校外にも広がっていきます。

昼食

お待ちかねのランチ！

お昼は給食!班ごとにテーブルについてご飯を食べます。

生徒の声

なによりも「先生との距離が近い」ということ!!
生徒数も一般的な中学校・高校に比べて少ないため、学習面においても生活面においても個人に向き合って下さいます。

HiGAで頑張っていることは「計画」を立てて勉強することです。
HiGAでは多くの問題があるので、それぞれの提出期限を確認して計画を立てています。今から身につけておくことで10の時期になって少しでも余裕をもてるようにしています。

たくさん課題がでることがあり、プレッシャーを感じることもあります。しかし、そこで諦めたり、嘆いたりするのではなく自分で乗り越えよう、と頑張っています。そのために手帳を使って計画をたてたり、スキマ時間を活用したりなど自分で「工夫」も行うようにしています。「Time management skill」がしっかり身につきますよ！

島は自然いっぱいで人も優しくて、歴史がいっぱいあって…。とにかく良い所!! ボランティアで行事に関わっていくこともあるからたくさん人知り良い機会になるかも!?

買い物に行くだけでも、自転車で20－30分も走らなければいけず、最初はなかなか慣れませんでした。しかし、海はきれいで山もあり、空は広い。島民のみなさんは優しく、慣れれば買い物を簡単に行けるようになりました。大変なこともあるかもしれませんが、それ以上にたくさんの魅力があると感じられました。

HiGAは寮生活なので、学校では学べない日々の生活のスキル(洗たくなども学ぶことができるので、自分をより成長させることができます。
また、学校には外国人の先生と気軽に会話ができるので英語を身近に感じながら、学ぶことができます。